非核・いしかわ

〒920-0848 金沢市京町 28-8　石川民医連労働組合気付
非核の政府を求める石川の会
TEL 076-251-0014　FAX 076-251-3930
http://hikakuishikawa.com/

2019 年 1 月 20 日　月刊第 246 号

非核五項目

① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

核兵器禁止条約の調印は 70 か国、批准は 19 か国（1 月 9 日現在）

1 面　人類の希望　マンデラと南アフリカ　井上英夫
3 面　「ご飯論法」または「白馬は馬に非ず」　五十嵐正博
4 面　原発センター１５年間の活動　礒貝和典
4 面　「石川９条おんがく隊」結成
5 面　「折り鶴の少女」禎子の心を世界に　佐々木雅弘
6 面　映画「ボヘミアン・ラプソディ」を鑑賞して　秋元邦宏
6 面　「ススメ　ススメ　ヘイタイ　ススメ」　莇　昭三
7 面　＜独標＞豪雨　高久晴美
8 面　シリーズ 石川の地域点描　中西　優
　　絵手紙コーナー　中山清子

【二〇一九年・年頭のご挨拶】

人類の希望　マンデラと南アフリカ

代表世話人　井上英夫

明けましておめでとうございます。

一昨年の本誌一月号で「非核と非暴力」ということで新年のご挨拶をさせていただきました。強固な戦争肯定論とりわけ核抑止力論への根本的な対抗策は非暴力以外にない。

非暴力を貫くのに、現実は余りに厳しい。しかし、ガンジーからマンデラへと現代における非暴力主義の足跡をたどると人類の将来に明るい展望が開ける。「あらためて非暴力主義の歴史を学び」と決意を述べました。

2018 年 11 月 14 日、鈴木靜さんと筆者㊨
喜望峰にて

ネルソン・マンデラに会いたい

昨年一一月、私は、愛媛大学の鈴木靜さんと一緒に約一日かけてケープタウンに到着し、ハンセン病患者、軍・民の犯罪者、政治犯、そしてネルソン・マンデラさんが収監されていた隔離の島ロッベン島、喜望峰、ダーバン、ヨハネスブルクを訪問しました。長年の希望でしたが、マンデラさんが一三年に九五歳で亡くなってから五年を経てようやく同じ空気をすえる地に立てました。

ご存知のように、マンデラさんは南アフリカで四八年から九一年まで続いた人種差別・人権剥奪制度すなわちアパルトヘイトに敢然と挑戦し、二七年間の獄中生活を経て、廃止させ、さらに九四年、全国民参加の選挙により大統領になった人です。

喜望峰にて～ヨーロッパ人から人類の希望へ

南アフリカの岬が発見され、喜望峰

花鳥風月

今号の当会代表世話人の二人の年頭挨拶に目を通すと、手前味噌ながら、会報編集に携わる事ができる幸運に感謝する他ない。そしてより広く読まれるよう尽力せねば、と思う▼小生は毎年、元日各紙社説を比較検討しているが、中身不明の「改革」なる言葉を弄んだり、浅薄な論評を恥ずかしく思う。それに比較して両代表の挨拶は、なんと高邁かつ正鵠を射た厳しい指摘であろうか。不義や背徳を正す勇気は〝知の力〟によって生じ、持続可能となることの証明だ▼小生はつい先日、八六歳の父とたわいもない親子喧嘩をした。その原因は父が「選挙などアホラシイ」と言うので、それをたしなめたのだ。重い現実に負けてはならない。民主主義を死なせてはならない▼情熱を支えるものが理想であり、それは〝知の力〟によって未来に設定された目標である。どちらも持続性が欠かせない。〝知の力〟によって嘘と悪を暴き、理想と情熱を忘却することなく、子孫により良いものを渡す。これが本当の愛であろう▼親子喧嘩の最中に私は「私を理想と情熱を忘れないこんな人間にしたのは父よ、貴方のお力なのです」と心の中で感謝していた。（中）

Cape of Good Hope と名付けられましたが、この「希望」はあくまでポルトガル・ヨーロッパ人にとっての希望であり、南アフリカの人々には苦難の歴史の始まりでした。しかし、喜望峰そして南アフリカは、今や人類にとっての希望の地になったと思います。

マンデラ広場にて～

非暴力・報復の切断と虹の国

その戦いの歴史は、マンデラさんの自伝（『自由への長い道』上、下巻、東江一紀 訳、ＮＨＫ出版、九六年）に詳しいのですが、私が感動し、人類の未来に希望を持てたのは、**非暴力主義により暴力による報復の悪循環を断ち切った**ことです。

ヨハネスパークにあるマンデラ広場

マンデラさんも、非暴力主義か、武器を取って立ち上がるか、激しい葛藤の中で、ついに武装部隊を組織します。しかし、その暴力は、白人政府の生命すら奪う暴力による弾圧政策に追い詰められた苦渋の選択であり、施設等物の破壊工作であって、直接人にむけられたものではありませんでした。非暴力主義が根底にあってこそ、解放後、支配者白人に対する報復を断ち切り全人種・全民族の融和による新たな虹の国づくりを進めることができたのだと思います。

「我々は勝利した。これからは黒人も白人も一緒に国づくりをしよう」

根底に、黒人も白人も同じ人間であり、価値において平等であるという人間の尊厳、そして基本的人権に対する熱くかつ冷徹な思想と行動があったのはもちろんです。

ヨハネスパークにあるマンデラ広場に立つとまさに虹の国を眼前に見る思いでした。広場は、黒人、白人、黄色人種と多様な人々が行きかい、レストランで食事し、子供たちが一緒に遊ぶ光景が見られたからです。

しかし、南アフリカの現実は、マンデラさんの思い描いた国の姿とはまだ遠く、厳しいといわざるを得ません。貧困、格差・不平等は解消されていません。治安状態も世界最悪状態は脱却したとはいえまだまだです。

「貧困の克服は、慈善や恩恵の問題ではない。正義の活動である。尊厳（dignity）と人間にふさわしい品性のある十分な生活（decent life）への権利すなわち基本的人権の保障である」。

マンデラの言葉は、社会保障を公助とし、軍事費を優先し、人権ではなく恩恵・お恵みに貶めている日本にも向けられたものでしょう。

ロッベン島にて～

マンデラと憲法九七条

昨年七月、私は、ＮＹ国連本部にいました。国連の高齢者人権条約制定のための作業部会参加のためです。

七月一八日は、ネルソン・マンデラ国際デーに指定されていますが、国連本部の一画に、生誕百年を記念してマンデラコーナーが設けられていました。この記念の年に、高齢者の人権保障運動に参加し、さらに、南アフリカの地を踏んだことに不思議な縁を感じます。

マンデラさんが一八年間収監されていたロッベン島に立ち、日本国憲法九七条を想起しました。

基本的人権は、「人類の多年にわたる自由獲得の努力（struggle）の成果」である。

まさにマンデラさんのたたかいは、日本国憲法の人権の本質にうたわれている「権利のための闘争」でした。

「たたかい（struggle）は、私の人生。自由のために生命尽きるまでたたかい続ける」。

マンデラさんについて市民に思いを聞くと、とたんに笑顔がはじけ、ナンバーワンの人、偉大な人、白人と黒人一緒に国をつくるんだと誇らしそうに語ります。まさに、マンデラさんが戦い、勝ち取った人権そして理想が、人々とくに若者に受け継がれていると実感できました。確かに、マンデラさんは偉大でしたが、そのたたかいは、共にたたかう南アフリカの人々、明るく、友好的で活力・向上心にあふれた人々があってこそのことだと実感できた。この旅の最大の収穫でした。

◇　◇　◇

南アフリカについては、医療・福祉問題研究会の三月二日例会（午後三時から五時　石川県社会福祉会館）で報告します。ご参集ください。

【二〇一九年・年頭所感】

「ご飯論法」または「白馬は馬に非ず」

代表世話人　五十嵐正博

明けましておめでとうございます。

昨年、「ご飯論法」が流行語大賞トップ一〇に選ばれました。安倍政権の嘘、詭弁を一言で言い当てたことが評価されたのでしょう。ところが、八七年、本会設立の前年、加藤周一さんは、紀元前、中国戦国時代に公孫龍が唱えた「白馬は馬に非ず」の故事をひいて、中曽根政権の「嘘」を暴いていました。

加藤さんが、朝日新聞に連載した『夕陽妄語』にあります（二月二〇日付）。加藤さんの慧眼に改めて驚きます。加藤さんを引用すれば「〈白〉が一、〈馬〉が一、あわせて〈白馬〉が二、二は一に非ず」という詭弁論法です。加藤さんは、中曽根さんの「大型間接税」導入、「国家秘密法」の目論見を許せなかったのでしょう。加藤さんを引用したのは、当時と今日の状況があまりに似通っているからです。中曽根さん、安倍さん、ともに改憲に情熱を持つところも同じです。

八六年、中曽根さんは、「解散は考えていません、選挙はやらない」と公言しながら、いわゆる「死んだふり（寝たふり）解散」をし、七月に衆参同日選挙を強行しました。そして、「大型間接税」は導入しないと言明しながら、八七年二月、「新型間接税」である「売上税」は「大型間接税」ではないとの詭弁を弄し、「売上税法案（税率五％）」を国会に提出したのです。

しかし、中曽根さんの「嘘」に対する国民の反発は強く、「税制改悪・売上税粉砕」のスローガンの下、全国各地で「売上税反対集会」が開かれ、三月の参議院補選（岩手県選挙区で社会党候補が圧勝）、四月の統一地方選挙で自民党が敗北、その結果、「売上税法案」は廃案となりました。

中曽根さんの「嘘」は、八九年の参議院選挙における自民党の全国的敗北まで自民党退潮の端緒となりました。私たちは、この歴史的事実を大いに教訓にしなければなりません。

加藤さんは、敗戦後、焼け野原となった東京を見て、「私にとっての焼け跡は、単に東京の建物の焼き払われたあとではなく、**東京のすべての嘘とごまかし、時代錯誤と誇大妄想が、焼き払われたあと**でもあった。」と綴っています（『羊の歌』岩波新書）。「あのいくさを歓呼して迎えた人々は、どこへ行ったのか。それよりも彼らをだましし死地へ追い立て、敗色濃くなるや、『焦土戦術』などという無意味に残酷なうわ言を口走っていた人々は、一体どこへ行ったのか」と。

「息を吐くように嘘を吐く」「ごまかし（公文書改ざん、隠蔽工作、データ捏造）」「時代錯誤（復古的憲法）」「誇大妄想（アベノミクス）」「戦後レジームからの脱却」「人づくり革命」「一億総活躍社会」などは、時代錯誤と誇大妄想の混然一体型といえるかもしれません。安倍さんは、「強固な日米同盟のために」の文脈で「沖縄の皆様の心に寄り添う」と語りました。**アメリカのために新基地を建設し、トランプの言いなりに高額兵器を爆買いし、そして、沖縄の民意を無視し、足蹴にする、それが安倍さんにとって「沖縄の皆様の心に寄り添う」こと。なんという残酷で、冷酷無比な心の持ち主なのでしょうか。**

この国を焼け野原にしないために、安倍さんには一日も早い退陣を求めます。四月の統一地方選挙、七月の参院選（ダブル選挙？）で自公政権を敗北に追い込まなければなりません。

「市民連合」は、今年の年頭所感で次のように呼びかけています。「立憲主義の回復、安保法制の廃止、安倍改憲の阻止などの一致点を土台に、誰もが自分らしく暮らせる社会や経済をつくるための政策を今後どれだけ具体的に構想し、発信していくことができるか、そうして、**政治をあきらめてしまった有権者たちを今一度呼び戻すことができるかが私たちに問われている**と考えます。」

加藤さんは、上記エッセイを次のように結んでいます。「**日本国民の力量によるのである。**」おっしゃるとおりです。

石川発、反核・平和の願い

「平和の子ら」ＣＤ制作にご協力ください！

制作協力金（1口2,000円）はＣＤ制作費と県内の小学校（208校）に寄贈する費用になります。1口につきＣＤ1枚を協力者に贈呈します。

「平和の子ら」ＣＤ制作委員会

代表　金森俊朗・西本多美子

連絡先／09023748784　川崎正美

原発センター能登の一五年間の活動報告

原発センター能登事務局長　礒貝和典

原発センター能登の活動は、〇三年七月から開催した「原発能登対策会議」がスタートになりました。この「対策会議」は、①中能登地域の議員・候補者などで構成し、調査研究と住民への問題提起をつよめる、② 原発予算の内容・使用の実態の調査と研究、防災対策を実情に見合った実効性のあるものに改善する調査・学習を行い、議会質問などに生かす、などを目的にしました。

〇七年の秋までに二九回の会議を行い、その都度、志賀原発一号機臨界事故、プルサーマル問題、能登半島地震と原発の耐震問題などを学習し、地域で宣伝や学習会の開催にも取り組みました。こうした約四年の活動の積み重ねの上に、一一年一〇月一三日に「原発問題住民運動能登地域連絡センター」を結成しました。

原発センター能登はそれ以来、八八回の運営委員会、前身の「対策会議」から数えると一一七回の会議を開いて活動を続けてきました。その中で思い出深いものをいくつかあげると、第一にあげられるのが一四年六月二七日に、原発センター能登と能登地方議員団が国会内で、経済産業省と原子力規制委員会に要望書を提出して交渉を行ったことです。

経産省に対して、「志賀原発直下・周辺には活断層があり、地震を引き金にして苛酷事故が起きれば、奥能登の住民は避難できないこと。志賀原発は北陸地域の電力供給に不要であること」を指摘して、廃炉を求めました。また、規制庁に対して、「富来川南岸断層の科学的な調査を行うこと。この断層の活動をふまえて原発の基準地震動を再検討すること」を求めました。避難計画について、経産省の担当者は「十分な計画をはじめからつくるのは難しい」と述べました。原発センター能登は、「十分な計画がなかったら住民は対応できない。国もきちんと関与して整備すべきだ」、「実効性のない計画しかないのに、原発を稼働するのは重大な問題だ」と指摘しました。

第二は、志賀原発一号機が営業運転を開始した翌年、九四年から行っている原子力防災訓練の視察です。昨年も一一月一一日に行われた訓練を、午前七時前から志賀町のオフサイトセンターや特別養護老人ホーム、輪島市の能登空港で視察しました。

第三は、原子力防災体制についての自治体や病院の担当者との懇談、屋内退避施設の見学です。これまでに、志賀町・羽咋市・七尾市・中能登町・町立富来病院・公立羽咋病院・公立能登総合病院・公立穴水病院の担当課とざっくばらんに懇談し、事前にアンケートにも答えてもらいました。また、屋内退避施設の見学も行っていて、説明していただいた自治体や病院の方から、「国から屋内退避施設をつくるよう指示はあったが、どのようなものをつくるのかという指針があったわけではない」、「放射線防護施設の整備について、国の基準が定まらないのに整備予算が流れてきた。施設を整備したが、これでいいのかと不安だった」といった率直な声もうかがっています。

こうした調査から、①国は屋内退避施設の整備についての詳細な指針がないまま、予算だけを流していること、②施設はつくられたけれども、原子力災害時に有効に機能するとは到底考えられないこと、③そもそも要援護者が、施設まで移動できるかですら疑問であること、などが明らかになりました。ある自治体の担当者が語った「使う機会がなくて、この施設がムダになるのが一番だと考えている」という言葉が、つよく印象に残っています。

原発センター能登が続けてきた活動は、志賀原発の再稼働を許さず、原発のない能登半島を実現する上で少なくない役割を果たしてきたと考えます。今後も、こうした活動を地道に続けたいと思います。

◎十一月二五日、近江町交流プラザ四階集会室で開かれた「原発問題住民運動石川県センター結成三〇周年記念のつどい」における活動報告です。

非核・平和のひろば

『石川9条おんがく隊』結成

一二月二四日、金沢市民芸術村にて結成されました。これは安倍九条壊憲を許すか否かの天王山にあたる今年の国政選挙を前に、従来の枠を超え、積極的に表現者として共同していくために結成されたものです。日本国憲法の不戦の誓いを葬り去ることを許さず、悔いなくたたかう決意を固め合いました。

講演要旨

「折り鶴の少女」禎子の心を世界に

～命と使命と想いやりの心～

ＮＰＯ法人サダコレガシー理事長　佐々木雅弘

一九四五年八月六日、爆心地より一・六kmの自宅で「原爆の子の像」のモデルとなった妹：禎子と母、祖母、私の四人が被爆した。私は四歳、禎子は二歳。一〇年後に禎子は原爆の影響による白血病で一二歳のときに亡くなった。禎子＝折り鶴、折り鶴＝平和のイメージが世界中に知られており、広島平和公園にある「原爆の子の像」には毎年一千万羽、重さにして一トンの折り鶴が奉げられている。

なぜそうなったのか。禎子が入院中に折り鶴をつくることになったのか、禎子の実体験を皆さんにお話したい。

サダコレガシー（禎子の遺産）とは

禎子は聡明な子であり、運動会のリレー選手としても活躍していたが、一九五四年一一月頃からリンパ腺の腫れが引かず、翌年一月にＡＢＣＣ（原爆障害調査委員会）で検査を受ける。

父親に告げられた検査結果は「亜急性リンパ性白血病」であり、禎子の命は「あと三か月、長くても一年」と。禎子は二月二一日に広島赤十字病院に入院した。入院中の禎子は、家計の経済的破綻、血液の癌の激しい痛み、精神的苦痛の三重苦に耐えた。禎子は血液の癌の全身転移による激しい痛みにもかかわらず、痛み止め（モルヒネ等）を一回も打たなかった。一二歳の少女が耐えられる苦痛ではなかったが、禎子は痛み止めはお金が要ることやモルヒネを打てば命が縮まることを知っていたから、けっして泣き言を言わず我慢した。

一九五五年七月、愛知県の淑徳高校から「原爆患者に差し上げてください」との手紙と共に、折り鶴四千羽が日赤広島支部に送られ、このうち二千羽が広島赤十字病院に届けられた。この折り鶴を禎子も受け取っており、これが鶴を折るようになったきっかけと言われている。

禎子は、闘病中に「鶴を千羽折れば願いが叶う」という言い伝えを父から聞き、命が尽きるその日まで、折り鶴を折り続けた。

一〇月二五日、禎子が亡くなった後、病院のベッドの下から入院した日（二月二一日）から七月四日まで、白血球、赤血球、血色素の数値が書かれた一枚のメモが見つかった。それは白血球が一〇万を超えると死ぬことを知った禎子がカルテから写したものだった。

禎子の「想いやり」の心

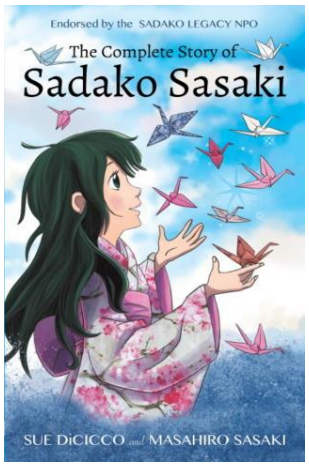
禎子は両親、兄弟、友達をいつも想いやっていた。無関心からは何も生まれない。自分のまわりに小さな目配り、自分の心配りすることにより、それが相手に届いたときに想いやりとなる。相手の心を引き出すという心配りをすれば、相手の情報は集まってくる。相手との違いを乗り越える方法を見つけることができる。

小さな平和とは自分のまわりの平和のこと。自分の家族のなかに禎子が望んだような平和があり、その家族の平和が地域の平和であり、やがて地方の平和、日本の平和となり、ウエーブとなって世界の平和へと発展していく。禎子は命をかけてそのことを教えてくれた。私はＮＰＯ法人サダコレガシーを設立し、小学校、中学校、高校、各種団体、諸外国で禎子が残した「想いやり」の心を発信している。

トルーマン大統領の孫ダニエルさんとの出会い

私は二〇〇四年八月、シアトルにある禎子の像の修復式に参加したとき、広島・長崎に原爆投下の命令を下したトルーマン米国大統領の孫にあたるダニエルさんと知り合う機会があった。二〇一〇年に、ニューヨークの９・１１同時多発テロの現場、グランド・ゼロでの被害者の会でダニエルさんと面会したとき、広島・長崎への訪問を要請した。アメリカには「原爆投下により戦争が早く終わり、アメリカの若き兵士、日本本土の婦女子や兵士の命が失われずに済んだ」との考えが多数ある。しかし、ダニエルさんは二〇一二年に来日したとき、禎子が残した「想いやり」に心を寄せて、「日本とアメリカの将来のため、子どもたちのためにどうあるべきか話し合うために来日した」と述べている。そして

広島・長崎両市長と会い、広島・長崎の平和祈念式典にも出席し、被爆者四〇数人の証言も真摯に聞いていた。ダニエルさんは現在、その証言を基に世界各地で講演活動をしている。



「SADAKO LEGACY」のホームページには英文「佐々木禎子の物語」（The Complete Story of Sadako Sasaki　表紙は別掲）も紹介している。禎子の物語と禎子が命をかけて残した「想いやり」の心を次の時代を担う子供たちにぜひ伝えていただきたい。

（非核・いしかわ編集部）

◎一二月二六日、片山津温泉・湖畔の宿森本で開かれた「折り鶴の少女」佐々木禎子さんの兄、佐々木雅弘氏の講演要旨です。主催は日本生活教育連盟石川サークル。

□ トピックス □

本年一月九日にカンボジアが核兵器禁止条約に調印し、調印国は七〇か国になりました。

非核石川の会リレーエッセー
映画『ボヘミアン・ラプソディ』を鑑賞して

秋元邦宏

大晦日に気になっていた映画『ボヘミアン・ラプソディ』を観てきた。世界的人気ロックバンド「クイーン」のボーカルで、九一年にHIVで四五歳の若さでこの世を去ったフレディ・マーキュリーを描いた伝記ドラマだ。ラストの「アフリカ難民救済」を目的とした二〇世紀最大のチャリティコンサート「ライブ・エイド」にかけて、感動であふれる涙が止まらなかった。

私自身は、音楽はクラシック中心でロック音楽とは無縁。もちろん「クイーン」というバンドは知っていたし、民放ドラマでも使われた「I Was Born To Love You」や「We Will Rock You」、「We Are The Champions」など彼らの有名曲は耳にしたことはあったけれど、でもその程度だった。

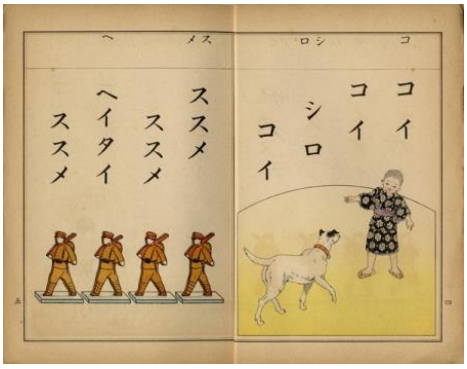
映画館を後にしながら、何にこんなに心を動かされるのか、いろいろ考えた。フレディ自身がバイセクシャルであったことは後に広く知られるが、華やかな活躍の一方での愛と孤独、苦悩と葛藤も描かれている。その心の叫びと、ありのままの自分でいいんだ、ありのままの自分で生きていく決意が、代表曲『ボヘミアン・ラプソディ』で歌われているのだと思う。

映画には、個性豊かな四人の音楽的才能と彼らによって紡ぎ出される名曲がふんだんにちりばめられ、最後の「ライブ・エイド」で歌われた人間肯定の精神が脈打つ素晴らしい楽曲とフレディの圧倒的な歌唱力、パフォーマンスには心から喝采を送りたいと思った。

新年八日付の「しんぶん赤旗」一面にうれしい記事が載っていた。フレディはもういないが、「クイーン」のバンドメンバーとして彼とともに生き、もちろん今回の映画にも登場しているギタリストのブライアン・メイ氏が、辺野古への米軍新基地建設工事中止を求める米ホワイトハウスへの請願署名のよびかけ人に名を連ね、SNSで「米軍基地拡張により脅かされている美しいサンゴ礁とかけがえのない生態系を守るために署名を」と訴えているのだ。昨今の人間の尊厳をふみにじる安倍暴走政治のなか、「クイーン」との新鮮でうれしい〝出会い〟体験だった。

「ススメ　ススメ　ヘイタイ　ススメ」
―洗脳は、まず、子供たちから！

莇　昭三



1933年当時の国定教科書

私が小学校に入学したのは、三三年（昭和八）である。待ちに待った教科書（国語）を開いてみると、兄貴や姉の教科書とは全然違っていた。兄貴や姉が使用した国語の最初の頁は、「スズメ　ガ　イマス　カラス　ガ　イマス」であり、大きなカラスと雀が二羽描かれていた。しかし私の使用する教科書の一頁は「サイタ　サイタ　サクラガ　サイタ」「ススメ　ススメ　ヘイタイ　ススメ」とあり、桜並木の横を鉄砲担いだ「兵隊さん」の隊列行

行進が描かれていた。

日本が中国の東北に侵入して、「満州国」をでっち上げたのは三二年二月、そして国際連盟がこの「満州国」を認めなかったことに抗議して、日本が連盟を脱退したのは三三年三月。そして更に国際的世論に逆行して、日本の関東軍が南下して、華北（北京地方）に侵入した頃であった。三三年三月、既にドイツではナチスが選挙で圧勝、ヒットラーが独裁を確立し、これに反発した諸外国に対し、ナチスは国際連盟を脱退した頃である。

この年、私たちの教科書が「ススメ　ススメ　ヘイタイ　ススメ」に変わったのであるが、私たちは何の違和感もなく、むしろ元気よくこれを音読していた。

日本の教科書は古くは自由採択であったが、その後、開申制度（一八八一）、認可制度（八三）、検定制度（八六）を経て　一九〇三年には「国定制度」となった。第二次世界大戦後の四七年、学校教育法の制定により再び検定制度となった。従って当時採用された「さくら読本」も「国定」の教科書であり、当時の「政治権力の動向」を端的に反映したものであった。

「権力」は「三つ子の魂」から、働きかける！

「三つ子の魂、百までも」という諺がある。個人の精神的成長は個別差があるとしても、幼少時の基礎教育は、その後の人生の基本を形成する。子供たちの教育の管理は、その国の、その時代の「権力」の提要であり、専権事項なのである。それは、昔も今も変わらない。

当時は「軍国少年」「軍国少女」を育成のために、「国家」も工夫したのであろう。何にも知らない私たち子供は「兵隊さんは国を守ってくれる」と単純に認識し、意識下に「軍隊」を肯定し続けたのである。

「戦争は納戸の窓から覗いてる」

詩人会議かなざわ「独標」より

豪雨

高久晴美

天が裂けた
雨がとめどなく降り続いた
地が動く
山が崩れる　崩れる　崩れる
川があふれる　あふれる　あふれる

地球という惑星が
変わり始めて
もうどれほどの時間が経ったのだろう

知らぬふりして
気づかぬふりして
私達は便利さを欲しがる
私達は利益を追い続ける
そうやって進化と豊さを手に入れた

この星は
怒っている？
泣いている？

人類に向け
この先も攻撃するだろう
これはまだ序の口かもしれない
まだ間に合う
そう信じたいが
では
何をする？
何が出来る？

異常気象という名前を付けるだけ

編集室から

韓国大法院は日本の植民地時代、人道に反する労働を強制された元徴用工の慰謝料請求を認める判決をした▼安倍政権は、この請求権は「一九六五年の日韓請求権・経済協力協定によって完全かつ最終的に解決している」「判決は国際法に照らしてありえない判断である」と見解を述べ全面的に拒否し、韓国を非難している▼韓国政府は、原告が求めているのは未払い賃金や補償金ではなく、日本の不法な植民地支配と侵略戦争の遂行に連結した日本企業の反人道的な不法行為について司法の判断を求めたもので「日本政府指導者らの発言は妥当でない」と反論している▼日韓請求権協定について日本政府の対応は、一九九一年八月二七日の参院予算委員会で清水澄子議員、一九九二年二月二六日の参院外務委員会で土井たか子議員の質問に、政府委員・外務省谷野作太郎アジア局長と柳井俊二条約局長が「最終的かつ完全に解決し、消滅したのは国家が有する外交保護権であって、個人請求権そのものを国内法的意味で消滅させたものではない。韓国の方々が我が国に対して個人としてそのような請求を提起するということまで妨げていない」と明瞭に答弁をしている▼河野外相は昨年一一月一四日衆院外務委員会で穀田恵二議員の質問に「元徴用工ら被害者個人の請求権は消滅していない」と認めている▼この政府見解を曖昧にせず、国民に丁寧な説明をしていただきたい。（平）

シリーズ石川の地域点描 29

フォトグラファー　中西優

消防による一斉放水=金沢城公園

加賀蔦梯子登り=金沢城公園

正月明けの金沢の恒例行事、加賀蔦梯子登りを見に金沢城公園に行ってきました。城郭を背景に梯子の上を所狭しと動く消防団員のみなさんの勇壮な姿が印象的です。

◇　◇　◇

私事ですが、昨年末にNHKで放映されたお城特集にて、金沢城の案内役として出演しました。視聴された皆様から多くの反響をいただきありがとうございました。今年一年も石川県の魅力を写真で発信していけるよう頑張ってまいります。

絵手紙コーナー

金沢医療生協絵手紙班　中山清子

非核・平和の掲示板

月	日	曜	時	内　容	会場
1	24	木	18:00	平和と民主主義を求める「新春の集い」 新春放談 「ドイツに学ぶ　働き方改革」 前田達男さん	金沢市昭和町・平和と労働会館 3階ホール
	26	土	10:00	日本中国友好協会石川県支部・新春講演会 「米中貿易戦争と日本への影響」北陸大学教授 李鋼哲さん	金沢市青草町・金沢市近江町交流プラザ4階
	26	土	15:00	日朝協会石川県支部総会 日中合唱交流と731部隊陳列館などハルビン見聞報告・北野春男さん	金沢市香林坊・石川県教育会館2階大会議室
	27	日	13:00	北陸原水協学校 「子供たちの未来に核兵器のない世界を渡そう」 日本原水協常任理事 前川史郎さん	金沢市三社町・石川県女性センター 2階
2	2	土	13:30	石川県労働者学習協議会「AIの進化と労働過程の変化」友寄英隆さん	金沢市青草町・金沢市近江町交流プラザ4階
	3	日	13:30	新春社会保障講演会 「いのち輝く社会保障に転換するために」 尾藤廣喜さん	金沢市三社町・石川県女性センター
	3	日	14:00	NPO法人未来塾・大人の学び第37回市民講演会 「あの松本サリン事件から考える」 ゲスト・河野義行さん	金沢市青草町・金沢市近江町交流プラザ4階
	6	水	12:30	核兵器廃絶署名6・9行動	金沢市武蔵町・Mza前
	6	水	12:50	第87回 怒りの昼デモ	金沢市香林坊・いしかわ四高記念公園教育会館口
	11	月・休	13:30	「建国記念の日」反対・平和と民主主義を考えるつどい 教科書でいま何が起きているのか「教育と愛国」DVD上映	金沢市青草町・金沢市近江町交流プラザ4階
	12	火	12:00	原発をなくす石川県連絡会　原発廃炉アピール行動	金沢市武蔵町・Mza前
	13	水	13:30	石川県消費者大会／松元ヒロ・一人芝居＆憲法ミニ講座　渡辺数麿さん	金沢市西念1丁目・労済会館3階ホール
	16	土	13:30	2019年新春フェスティバル講談「はだしのゲン」／神田香織さん	金沢市昭和町・石川県立音楽堂交流ホール
	20	水	12:50	第88回 怒りの昼デモ	金沢市香林坊・いしかわ四高記念公園教育会館口
	23	土	10:00	いしかわ市民連合政策シンポジウム(仮称)	金沢市青草町・金沢市近江町交流プラザ4階
	24	日	14:00	原水爆禁止石川県協議会　総会	金沢市上荒屋・石川県学習会館
	27(水)～3/1(金)			2019年3・1ビキニデー	静岡県静岡市・焼津市
3	2	土	14:00	わらび座ミュージカル公演「北前ザンブリコ」	白山市吉城町・松任文化会館大ホール
	2	土	15:00	医療・福祉問題研究会例会「人類の希望の地　南アメリカ―ネルソン・マンデラと非暴力・人権・虹の国」井上英夫さん	金沢市本多町・石川県社会福祉会館 4階中ホール
	6	水	12:30	核兵器廃絶署名6・9行動	金沢市武蔵町・Mza前
	9	土	14:00	3・11原発廃炉県民集会(仮題)とデモ行進 メモリアル講演・福島県楢葉町 宝鏡寺住職 早川篤雄さん	金沢市香林坊・石川県教育会館 3階ホール
	9	土	18:00	中村敦夫・朗読劇「線量計が鳴る・元原発技師のモノローグ」	金沢市広坂・21世紀美術館 B1シアター21
	24	日	10:00	石川県保険医協会総会記念講演/仲里尚実さん・瀬長和男さん	金沢市堀川町・ホテル金沢2 階

＊祝日は休日とします　＊毎週金曜日18:30どいね原発アピール行動 金沢駅兼六園口　＊毎月15日石川県沖縄連帯デー12:00

＊会報「非核・いしかわ」サポート会員を募集中。年間購読料は1,500円です。 ゆうちょ口座番号 00760－0－15689